

令和元年度 清原北小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

「人間尊重の教育」を基盤に、自ら考え、正しく判断し、豊かな心をもって、たくましく生きる児童を育成する。

【考え深く】

【こころ豊かで】

【たくましく】

活用期	・ 自ら考え、工夫する子	・ こころ豊かで思いやりのある子	・ 気力と体力のあるたくましい子
基礎期	・ 自分で考え、学習する子	・ 親切で思いやりのある子	・ 元気でがんばる子

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

【小規模特認校として、保護者や地域から信頼され連携・協力しながら、夢と理想をもって共に成長していく学校】

小規模特認校として、保護者・地域と共に新しい学校を創っていくことが重要である。まず、教職員が「児童と共にある教育活動」の実践を通して信頼を得て、学校が地域の核となり、保護者や地域を巻き込みながら教育環境の充実・向上に努力し、特色ある学校としての評価を高める。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

《基本方針》

「小規模特認校として、保護者や地域から信頼され連携・協力しながら、夢と理想をもって共に成長していく学校」

視点①【達成感と成就感】

児童一人一人が目あてをもって、生き生きと学習や活動に取組み、達成感や成就感を味わうことのできる学校

視点②【個性と認め合い】

児童のよさや個性が発揮でき、お互いが認め合い、励まし合いながら伸びていこうとする気風が満ちている学校

視点③【気力と体力】

児童自らが、体力・健康・食生活の向上・安全を関連付けた望ましい生活習慣を身に付け、気力と体力が充実している学校

[清原地域学校園教育ビジョン]

自己を見つめ、自己のよさを生かした夢の実現に向けて、主体的に取り組む児童生徒の育成
～人との豊かなかかわりを通して～

4 教育課程編成の方針

- ・ 国・県・市の示すところに従い、公教育の立場を堅持し調和と統一ある教育課程を編成する。
- ・ 児童の生きる力を育むこと、成長するための基盤を培うことを目指す。
- ・ 小規模特認校として、児童の実態や学校の特色、地域の教育力を生かして家庭や地域との連携を図る。
- ・ 教育課程を介して目標を学校と保護者、地域が共有し、教育内容をどのように学び、どのような資質・能力を身に付けられるようにするのかを明確にしながら、保護者や地域との連携・協働によりその実現を図る。

5 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【学 校 運 営】

- 小規模特認校として、学校・家庭・地域が互いに連携を深め、地域の教育力を高めるとともに、小中一貫教育の基本方針に沿いながら学校力の向上を図る。
- ・ 教職員として自己研鑽を積み、専門職としての資質・能力を高め、協働しながら教科・学級・学校経営の適正化を図る。
- ・ 業務の効率化や適正化を図るとともに、勤務時間を意識した働き方を推進する。

【学 習 指 導】

- ・ 個に応じた細やかな指導により、「基礎学力の定着」を図る。
- 児童生徒と達成感や成就感を共有し合うことにより「学ぼうとする力」を育成する。

【児 童 生 徒 指 導】

- ・ 自分のよさや可能性を認識し、進んで課題解決や目標達成に取り組むための資質・能力として「自己肯定感」を育む。
- 認め合い、励まし合い、協力し合える豊かな人間関係を築き、「ともによりよく生きようとする心」を育成する。

【健康（体力・保健・食・安全）】

- 体力向上・健康増進・食生活の充実・安全に関する望ましい生活習慣を身に付けさせ、心身ともに「健康で安全な生活を創る力」を育成する。

6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
目 指 す 児 童 の 姿	A 1 児童は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、授業中、話をしっかりと聞いたり発表したりするなど、進んで学習に取り組んでいる。」における肯定的回答 ⇒児童 80%以上	① 各教科等や学習活動におけるねらいや目標を明確にし、達成することで新たな意欲がもてるよう、指導支援の充実に努める。 ② 「わかる・できる」授業を目指し、学年の発達段階に応じた指導方法を工夫する。 ③ 校内研修を充実させ、授業力の向上に努める。		【達成状況】 【次年度の方針】
	A 2 児童は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している。」における肯定的回答 ⇒児童 80%以上 ⇒教職員 80%以上	① ハッピーな一ページを活用し、自分や友達の良い所を積極的に認める。 ② 道徳科の授業において、話し合い活動やロールプレイングを積極的に取り入れ、思いやりの心について考える機会を多く作る。 ③ 「ふわふわ言葉」を推奨し、優しい言葉遣いで相手に接することができるようにする。		【達成状況】 【次年度の方針】
	A 3 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、きまりやマナーを守って生活している。」における肯定的回答 ⇒教職員 80%以上 ⇒保護者 80%以上	① 基本的な生活習慣の定着のため、決まりやマナーについて教職員の共通理解を図るとともに学校や学級での様子を積極的に発信し、保護者の理解・協力・連携を強化していく。 ② 年度当初に学級できまりやマナーの確認をしたり、児童会主体で啓発活動を行ったりすることにより、全児童が同じ価値観を共有しながら実践できるよう指導する。		【達成状況】 【次年度の方針】
	A 4 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、時と場に応じたあいさつをしている。」における肯定的回答 ⇒児童 80%以上 ⇒保護者 80%以上	① <u>異学年でのあいさつ運動を行う等、自治的な活動を推進する。教職員は、自分から積極的にあいさつするとともに保護者や地域への啓発活動を継続する。</u> ② 4月から12月まで継続的にあいさつ運動を行うとともに、あいさつ運動の際に保護者の参加を呼びかけ、あいさつへの意識を高めていく。 ③ 児童会においてあいさつを励行し、気持ちのよいあいさつをしている児童を表彰する。		【達成状況】 【次年度の方針】

A 5 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 「私は、夢や目標に向かって、あきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」 における肯定的回答 ⇒児 童 80%以上 ⇒教職員 80%以上	① <u>各種検定（鉄棒・水泳・縄跳び）や大会（マラソン・縄跳び）において、今年度の目標値を設定させるとともに、保健・体育委員会の児童が「運動教え隊」を結成して児童同士で運動し合える場を確保する。</u> ② 各教科及び各行事において、ねらいを明確にさせるとともに、振り返りを確実に行って次への意欲付けを図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 6 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、健康や安全に気を付けて生活している。」 における肯定的回答 ⇒教職員 80%以上 ⇒保護者 80%以上	① <u>学年スクスク、全校スクスクなどで健康指導を行い、児童の意識向上を図る。</u> ② スクスクウィークや長期休業中のスクスクチェックにより、家庭での生活習慣への意識を高める働きかけを行う。 ③ 交通安全教室や避難訓練を通して、児童自身の判断力を育て、緊急時に適切な対応ができるよう指導する。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 7 児童は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。 【数値指標】 全体アンケート 「私は、夢や目標に向かって、あきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」 における肯定的回答 ⇒児 童 80%以上 ⇒保護者 80%以上	① 係活動・委員会活動・清掃活動において、定期的に振り返りを行い、取り組みを確認させるとともに、児童同士が協力して活動を行えるようにグループ編成を工夫する。 ② <u>昼会スピーチにおいて、頑張っていることなどについて話したり、友達の話を聞いたりすることにより目標に向かって努力することの大切さに気付かせる。</u>	【達成状況】 【次年度の方針】
A 8 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。」 における肯定的回答 ⇒児 童 85%以上 ⇒教職員 85%以上	① 朝の放送や献立発表を英語と日本語の両方で、継続して行う。 ② A E Tが朝の準備や清掃、給食指導などの機会を捉えて英語で話しかけ、担任も英語を使ってほめたり励ましたりすることにより英語表現に慣れさせ、自然なコミュニケーションを推進する。	【達成状況】 【次年度の方針】

A 9 児童は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 全体アンケート 「私は、宇都宮の良さを知っている。」 における肯定的回答 ⇒児 童 80%以上	① 生活科・社会科・総合的な学習の時間を活用し、郷土宇都宮の歴史や伝統文化、産業などについて理解し、郷土への愛情をもてるような教育活動の展開を図る。 ② 地域素材を生かした活動を積極的に取り入れた教育活動に取り組む。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 10 児童は、ICT機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、ICT機器や図書等を学習に活用している。」 における肯定的回答 ⇒児 童 80%以上 ⇒教職員 80%以上	① 図書館司書と連携を図り、各教科において積極的に図書館を利用する場面を洗い出したり、低学年において週1回図書館を利用する時間を位置づけたりする。 ② ICTが効果的に活用できる単元を年計に位置付けるとともに、過去の実践を参考にして利用していく。 ③ デジタルカメラなどを児童が手軽に活用できるように基本的な操作方を指導するとともに、活用する場を多く設ける。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 11 児童は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、誰に対しても思いやりの心をもっている。」 における肯定的回答 ⇒児 童 85%以上 ⇒教職員 85%以上	① <u>生活科や総合的な学習の時間、会話科などで交流する際に、高齢者の方の立場や気持ちなどを考える場を設けた上で実践できるよう指導する。</u> ② 道徳科の授業において、話し合い活動やロールプレイングを積極的に取り入れ、思いやりの心について考える機会を多く作る。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 12 児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、環境問題や防災等の「持続可能な社会」について、関心をもっている。」 における肯定的回答 ⇒児 童 80%以上 ⇒教職員 80%以上	① 総合的な学習の時間を活用し、環境や国際理解、防災や食に関する指導をするなど、地域素材を活かした教科の枠を超えた横断的な指導の立案・実施・見直しを行う。 ② 日々の学校生活の中で、環境問題や防災等について意図的に話題にしたり、持続可能な社会に関わる本を紹介する読書活動を行ったりすることで、自分たちの生活と地球規模の課題がつながっていることへの関心をもたせる。	【達成状況】 【次年度の方針】

	B2 児童は、積極的に自分の考えを表現したり、相手の話を聞いたりしている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、積極的に自分の考えを表現したり、相手の話を聞いたりしている。」 における肯定的回答 ⇒児 童 80%以上 ⇒教職員 80%以上	① 清北タイムの諸活動において、児童の主体的な活動を重視して展開したり、スピーチの場を計画的に位置づけてたりする。 ② 表現力やコミュニケーション力の育成を図るため、校内研修を行い、各教科や会話科の指導内容・方法・評価などの工夫改善に努める。	【達成状況】 【次年度の方針】
目 指 す 学 校 の 姿	A13 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 全体アンケート 「教職員は、特別な支援を必要とする児童や外国人児童の実態に応じて、適切な支援をしている。」 における肯定的回答 ⇒教職員 85%以上	① 習熟度別・少人数指導の推進、特別支援教室の活用、個に応じた支援の工夫などを行い、指導の充実を図る。 ② スクールカウンセラーや市教育センターなど関係機関と連携を図り、工夫・改善を行いながら、児童の実態に応じた適切な指導・支援を行う。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 全体アンケート 「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる。」 における肯定的回答 ⇒児 童 80%以上 ⇒保護者 80%以上	① 昼会タイムを活用し、代表児童による「いじめゼロ」に関するキーワードの発表を行い、いじめをしないための心構えや気持ちのもち方を示す。 ② 「児童総会」や「いじめゼロなかよし集会」において、校長講話や児童会による啓発活動を行い、よりよい人間関係作りに努める。 ③ 日々の様子やいじめアンケート、教育相談などをもとに、いじめの早期発見に努め、毅然とした態度で指導を行う。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 全体アンケート 「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる。」 における肯定的回答 ⇒児 童 80%以上 ⇒保護者 80%以上	① <u>ハッピーな一ページ</u>を活用し、<u>友達の良い所を積極的に認めることで、一人一人の自己肯定感を高める。</u> ② 学級活動や学校行事など特別活動における一人一人の活躍の場を設け、活動後にその頑張りを称賛する。	【達成状況】 【次年度の方針】

A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 全体アンケート 「教職員は、特別な支援を必要とする児童や外国人児童の実態に応じて、適切な支援をしている。」 における肯定的回答 ⇒教職員 85%以上	① 日本語指導ボランティアや特別支援教室との連携を図りながら、生活や学習に必要な日本語表現を身に付けさせる。 ② 異なる文化慣習について、学級での指導を十分に行い、互いの文化を大切にしようとする心情を育てる。また、調理実習や宿泊学習等で必要な配慮を行う。	【達成状況】 【次年度の方針】
A17 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】 全体アンケート 「学校は、活気があり、明るく生き生きとした雰囲気である。」 における肯定的回答 ⇒児童 85%以上 ⇒保護者 85%以上	① 各教科等や学習活動におけるねらいや目標を明確にし、達成することで新たな意欲がもてるよう、支援の充実に努める。また、振り返りを行い、自己の成長を感じられるようにさせる。 ② <u>小規模校の特性を生かし、一人一人を大切にした教育活動（昼会スピーチ・献立発表）の展開、異学年交流（縦割り班活動・清掃）の推進を図る。</u>	【達成状況】 【次年度の方針】
A18 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 全体アンケート 「先生方の授業は分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる。」 における肯定的回答 ⇒児童 85%以上	① 各調査や学級における児童の実態を担当や特別支援教室担当教員、学力向上担当教員、保護者が共有し、それをもとに学級及び児童各個人の適切な目標を設定しながら学力向上に努める。 ② 日常の授業実践を重視し、児童の学習状況を的確に把握することにより、朝の学習の時間に補充的な学習を行うなど、学習内容の確実な理解と定着を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
A19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 「学校に関わる教職員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。」 における肯定的回答 ⇒教職員 85%以上	① 様々な教職員が連携、協力して取り組むことにより、学習指導や児童指導を充実させる。 ② 栄養士、司書、AET、特別支援教室担当教員、学力向上担当教員など多様な専門性を有する学校スタッフの各種行事等での役割を、実施計画に明確に位置づける。	【達成状況】 【次年度の方針】

A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 「学校に関わる教職員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。」 における肯定的回答 ⇒教職員 80%以上	① 最低月一回のリフレッシュデーを設け、計画的に業務を行い、定時退勤を心がける。 ② ミライムによる出退勤時刻の管理を自分自身で行うことにより、勤務時間厳守の意識を高める。 ③ 事務スタッフなどの職員が、教員の事務作業等を集約して実施することにより、業務の効率化を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
A21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 全体アンケート 「学校は、小学校と中学校が連携した「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。」 における肯定的回答 ⇒児童 80%以上 ⇒保護者 80%以上	① 地域学校園における乗り入れ授業やあいさつ運動、授業研究会、中学校訪問等の充実を図り小中間での連携を深める。 ② 取組の様子を各種便りやHP等で公開・発信する。	【達成状況】 【次年度の方針】
A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。 【数値指標】 全体アンケート 「学校は、家庭・地域・企業と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」 における肯定的回答 ⇒保護者 85%以上 ⇒地域住民 85%以上	① 特認校としての特色ある教育活動を学校経営の軸として教育課程に位置付け、学校と家庭・地域の双方向的な関係としての「地域とともにある学校」を実践する。 ② <u>生活科や社会科、総合的な学習の時間を通して、地域の方から板戸町の文化や自然、歴史等について学ぶ「板戸学習プログラム」を実施する。</u> ③ 学校と保護者・地域が連携・協働体制を確立し「学校地域秋季大運動会」や「きよきた船頭まつり」などの「地域連携プログラム」を実施する。	【達成状況】 【次年度の方針】
A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい児童の育成に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 学校は、家庭・地域・企業と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」 における肯定的回答 ⇒保護者 85%以上 ⇒地域住民 85%以上	① 家庭訪問・授業参観・三者懇談を計画的に行ったり、学年だよりに学校教育活動の意図や児童の成長の様子等を「心の広場」として掲載したりすることで、家庭との連携・協力を図る。 ② <u>地域学校園クリーン活動やPTA奉仕作業など、学校と家庭・地域が連携協力した学校環境整備作業等を実施し、奉仕の心を育む。</u> ③ <u>外部講師や各種関係団体を招いての特色ある教育活動を計画・実施し、主体的に学ぶ姿勢や地域を愛する心を育てる。</u>	【達成状況】 【次年度の方針】

本校の特色・課題等	A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 全体アンケート 「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。」 における肯定的回答 ⇒教職員 80%以上 ⇒保護者 80%以上	① 授業時間帯に門扉・校舎出入口の施錠を徹底するとともに、<u>防犯対策について表示することで、児童・来校者への防犯意識を高める。</u>（インターフォンでの対応） ② 駐車場等での規則について周知・徹底することで交通事故の防止に努める。 ③ <u>暑さ指数の掲示</u>や、保護者への周知、行事の際の暑さ対策を徹底するなどにより、熱中症事故等の防止につとめる。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A25 学校は、学習に必要なＩＣＴ機器や図書等を整えている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、ＩＣＴ機器や図書等を学習に活用している。」 における肯定的回答 ⇒児童 80%以上 ⇒教職員 80%以上	① 授業内容の定着や発展的学習で、パソコン室や図書室を活用し、学習内容の理解を深める。 ② デジタル教科書やメディア教材を授業で積極的に活用することにより、「わかる・できる」授業の展開を工夫する。	【達成状況】 【次年度の方針】
	B1 学校は、地域の素材や教育力（歴史や自然、文化、人材等）を生かし、教育活動の充実を図っている。 【数値指標】 全体アンケート 「学校は、地域の素材や教育力（歴史や自然、文化、人材等）を生かし、教育活動の充実を図っている。」 における肯定的回答 ⇒児童 80%以上 ⇒教職員 80%以上	① 特認校としての特色ある教育活動を学校経営の軸として教育課程に位置付け、学校と家庭・地域の双方向的な関係としての「地域とともにある学校」を実践する。 ② <u>生活科や社会科・総合的な学習の時間など、地域の素材や教育力を生かした学習活動を意図的・系統的に取り入れる。</u>	【達成状況】 【次年度の方針】

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。